

住吉・和合 地区社協だより

各戸配布

住吉・和合地区社会福祉協議会
第26号

令和7年3月31日
発行

もったいないから、地域のつながりへ

住吉・和合地区社会福祉協議会

地区社協



地域住民



JamJam の木運動

基本情報

活動場所	高台協働センターほか住吉・和合地区内
活動頻度	不定期
利用料	無料
活動の担い手	住吉・和合地区社会福祉協議会関係者・地域住民の皆さん



きっかけ

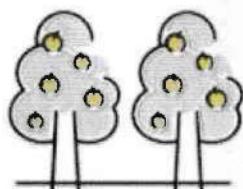
住吉・和合地区社会福祉協議会では、「支え合い、生きがいのあるまちづくり」をテーマに活動しています。春になると地域の家庭にある庭や畑の夏みかんが多くできますが、食べきれずに地面に落ちてしまいます。中には、高齢により、収穫作業が難しくなり、放置されることも少なくありません。折角の果実が「もったいない」との声もあり、何とか活かすことができないかという思いから、令和5年度に「JamJamの木運動」が始まりました。

活動開始までの流れや工夫

ボランティアには、地域の子どもから高齢者まで幅広い年代が参加しています。令和5年度に収穫した夏みかんは、浜松城北工業高校の料理研究部顧問の先生の協力で、夏みかんのジャムを作成しました。



活動内容



ジャム作りについては、収穫→下処理→煮込み→瓶詰めを全てボランティアによる手作業で実施しています。皆さんで作られている様子は笑顔が溢れています。完成したジャムは、夏みかんを提供した家庭やボランティアにお渡ししました。また、令和6年度も4月に夏みかんの収穫とジャムを作成しました。完成したジャムを障がい者就労施設に提供し、販売していただきました。

実績・効果

ジャムはなんと5日間で完売となり、障がい者就労施設の収益となりました。参加者や地域の方から、「ジャムが美味しい」という声が届いています。夏みかんが「もったいない」という声から集まった活動ですが、ジャムを通して、地域の皆様や浜松城北工業高校、就労支援施設との輪「わ」が広がりました。

担い手の
想い

住吉・和合地区社協の川崎会長に
想いを聞きました！

「JamJamの木運動」は、夏みかんの収穫、ジャムを作ることだけが目的ではありません。今回の運動を通じて、地域住民が収穫やジャムを作るときにコミュニケーションが生まれ、住吉・和合地区の住民同士をつながたい思いから、実施しています。

家事支援報告書 令和6年3月～令和7年2月

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計	R5
和合	派遣件数	7	5	1	15	16	18	12	24	13	16	6	6	139	106
	派遣人数	10	5	1	21	22	23	16	35	14	20	6	6	179	131
住吉	派遣件数	20	22	20	17	25	25	25	26	28	36	18	20	282	269
	派遣人数	20	23	25	20	33	26	30	28	34	42	18	20	319	318
合計	派遣件数	27	27	21	32	41	43	37	50	41	52	24	26	421	375
	派遣人数	30	28	26	41	55	49	46	63	48	62	24	26	498	449

高台えんにち 令和6年9月22日(月)

> *レコードを聴く会

各々の演奏がバンド風に多く聴くことが出来ました。



> *もったいないマート



JamJamの木運動 令和6年10月19日(土)

➤ *シフォンケーキ作り



歳末事業 令和6年12月22日(土)

➤ *正月用門松 リース作り



高台協働センターまつり 令和7年2月8日(土)・9日(日)

お天気は良かったのですが、
ちょっと寒さを感じる2日間
でした。でも多くの来場者を
迎え、たいへん盛況な出し物
ばかりでした。



➤ *起震車体験



➤ *みかん詰め放題



➤ *米はざしポン菓子販売



➤ *その他

